

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	老年看護学方法論Ⅰ
講師名	玉村 真弓 春口 優紀	実務経験の有無	2名とも有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期
講義の概要 *講師からの メッセージ	高齢者の加齢による精神的・身体的・社会的変化を考えながら、高齢者の日常生活の援助方法を学びます。		
<p>目的：高齢者の日常生活動作をふまえ、日常生活援助の基本を学ぶ。</p> <p>目標：</p> <p>1) 高齢者の日常生活動作をふまえ、日常生活援助の基本を学ぶ。</p> <p>2) ライフステージの最終段階にある対象のQOLを充実させるための看護を理解する。</p> <p>3) 高齢者の生活における特徴的な変調を理解する。</p>			
回	時間	講義内容	
1	2	日常生活動作のアセスメントと動作	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活の基本となる日常生活動作 2. 基本動作 3. 基本動作・姿勢を支える環境 4. 日常生活活動(動作)の評価
2	2	転倒のアセスメントと看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者と転倒 2. 転倒リスクのアセスメント 3. 転倒予防に向けた援助 4. 転倒した高齢者への看護
3 4	4	廃用症候群のアセスメントと看護	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者と廃用症候群 2. 廃用症候群の早期発見・予防に向けた看護
6	2	廃用症候群 看護	廃用症候群の予防 (車椅子移乗・起き上がり動作)の演習
7	2	清潔・衣生活	<ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔の意義 2. 高齢者の身体変調 3. 清潔のアセスメントと看護
8	2	コミュニケーション1	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの基本 2. 高齢者にみられるコミュニケーションの特徴 3. 高齢者のコミュニケーション能力のアセスメント
9	2	コミュニケーション2	<ol style="list-style-type: none"> 4. 高齢者とのコミュニケーション方法
10	2	高齢者の食生活と食事1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者にとっての食べることの意味

			<ul style="list-style-type: none"> 2. 高齢者に特徴的な変調 3. 食生活のアセスメント 4. 多職種協働による食支援
11	2	高齢者の食生活と食事 2	<ul style="list-style-type: none"> 5. 食事の援助 演習 高齢者の食事援助の実際
12	2	高齢者への排泄ケア	<ul style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の排泄ケアの基本 2. 加齢にともなう排泄機能及び全身機能の低下 3. 排尿所外のアセスメントとケア 4. 排尿障害の特徴 5. 排便障害の特徴
13	2	生活リズムの看護ケア	<ul style="list-style-type: none"> 1. 高齢者と生活リズム 2. 生活リズムのアセスメント 3. 生活リズムを整える看護 4. 睡眠薬の使い方と注意点
14	2	高齢者の更衣・排泄・清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の事例をもとに、高齢視野の排泄ケア・更衣・清潔援助計画を立案し、演習で実践する
15	2	単位認定試験 筆記試験	
講義方法		(講義 20 時間 , 演習 10 時間)	
評価方法		単位認定試験 筆記試験 (90 点)・課題レポート (10 点)	
テキスト		医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ，老年看護学	
備考			